

第128期

# 中間事業報告書

平成22年4月1日から  
平成22年9月30日まで



ISO9001 認証  
JQA-1050



ISO14001 認証  
JQA-EM0365

大阪府東大阪市四條町12番8号

株式会社 ロブテックス



## トピックス

### オフィシャルグッズ完成 (非売品)

今期ブランドイメージをアップさせ、より多くの方に [LOBSTER] を知って頂くために色々なオフィシャルグッズを作成しました。  
販売促進を目的とした利用以外にスポーツイベントなど、一般ユーザーへ、アピールしユーザー層を広げる為にも利用しています。

ポロシャツ



胸ポケットにはモンキレンチが入っているプリントを施していません。

キャップ



キャップのツバはエビのハサミをイメージしたデザイン。うしろはエビの尾びれを配しました。

ハンドタオル



ハンドタオルとリストバンドの生地には、抜群の消臭効果のあるものを使用しています。

リストバンド



## 新商品

### ネジアンギラスシリーズ

普段使っている工具に小ネジ外しの機能を追加 (プラス1) 仕事に応じた多機能シリーズとして新発売いたしました。



#### ネジアンギラス バイスプライヤタイプ (板金、鉄工業など)

バイスプライヤ機能にタメミゾを追加! ネジをがっちり固定して回すことができます。



#### 圧着工具 AK28A

これ1丁ですべての絶縁端子で作業が可能です。



#### ネジアンギラス ペンチタイプ (電気工事など)

ネジアンギラスにペンチタイプ登場。小ネジ外し以外の機能も充実。



#### 先端横曲がりラジオペンチ

業界初の新設計  
狭い作業箇所にも便利な先曲がりラジオペンチ



#### ネジアンギラス ハイブリッドポンプラタイプ (水道・設備工事など)

適応ネジサイズが広がりました。先端くわえ部適応ネジ頭φ10mm以下まで対応できます。



## 株主のみなさまへ

株主のみなさまには、ますますご清栄のこととおよろこび申し上げます。

さて、ここに第128期中間事業報告書をお届けいたしますので、ご高覧たまわりますようお願い申し上げます。

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は新興国の成長による輸出の増加や政府の経済対策効果から一部では景気回復の兆しがみられましたものの、雇用情勢は厳しく、円高が進行するなど、依然として先行きは不透明な状況で推移しました。

このような状況の下、当社グループは2010年度の経営スローガンとして「グループ全員一丸となり、変化を恐れず、新たな価値を創造します」を掲げ、日々変わりゆく市場ニーズ・ウォンツに即応し、新たな価値を提供し続ける体制を築くことに取り組んでまいりました。その結果、売上高は前年同期比19.0%増の26億7百万円（前年同期21億9千万円）となり、利益面では、営業利益で同54.9%増の2億3百万円（同1億3千1百万円）、経常利益で同60.6%増の1億4千8百万円（同9千2百万円）、四半期純利益で同41.7%増の6千3百万円（同4千4百万円）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

### <金属製品事業>

国内売上におきまして、苦戦を強いられておりました切削工具部門は前年同期に対し、ほぼ横這いに推移し、ハンドツール部門では、圧着工具が減少いたしましたものの、万力類をはじめ、他の

品種では売上が回復基調となり、ファスニング部門では工業用ファスナーが大幅に伸張しました。海外売上におきまして、ハンドツール部門では、韓国向けにモンキレンチ・プライヤ類・圧着工具が堅調に推移し、ファスニング部門では北米においてエアリベッターが回復基調となりました。その結果、金属製品事業の合計売上高は24億7千8百万円となりました。利益面では、前年度に実施した賃金の一定率カット等の人件費削減を部分的に正常化したことによる費用の増加はありましたが、増収効果や在庫回転期間管理の徹底による売上原価率の改善、その他の経費削減により、営業利益は1億4千8百万円となりました。

### <レジャーその他事業>

猛暑などの異常気象の影響により、ゴルフ練習場への入場者数が減少し、売上高は1億2千8百万円となり、営業利益は5千5百万円となりました。

株主のみなさまには、変わらぬご支援、ご指導をたまわりますようお願い申し上げます。

平成22年12月

取締役社長

地引俊爲

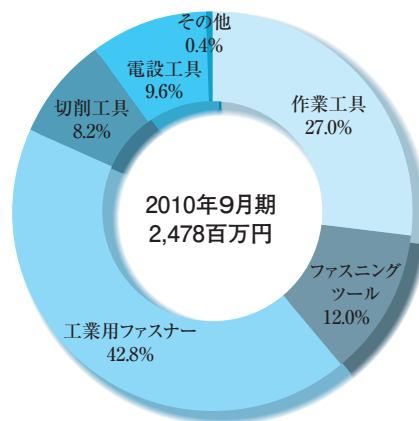
# 連結業績の推移

## ● 営業成績

区分	第121期 (2004年 3月期)	第122期 (2005年 3月期)	第123期 (2006年 3月期)	第124期 (2007年 3月期)	第125期 (2008年 3月期)	第126期 (2009年 3月期)	第127期 (2010年 3月期)	第128期 通期予想 (中間期)
売上高 (百万円)	5,454 (2,618)	5,765 (2,729)	5,992 (2,934)	6,167 (2,975)	6,492 (3,068)	5,291 (3,066)	4,532 (2,190)	5,040 (2,607)
経常損益 (百万円)	228 (73)	366 (145)	384 (98)	203 (143)	94 (17)	△ 344 (△55)	157 (92)	180 (148)
当期純損益 (百万円)	73 (13)	192 (62)	353 (149)	358 (89)	△ 114 (△91)	△ 334 (△55)	90 (44)	90 (63)
1株当たり 当期純損益 (円)	6.90 (1.21)	17.26 (6.15)	35.47 (15.86)	37.24 (9.50)	△11.72 (△9.34)	△35.31 (△5.80)	9.63 (4.73)	9.56 (6.70)

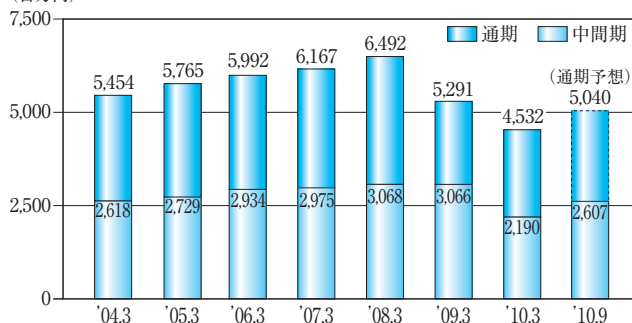
(注) ( ) は中間期の数値であります。

## ● 金属製品事業における品種別の売上高構成比



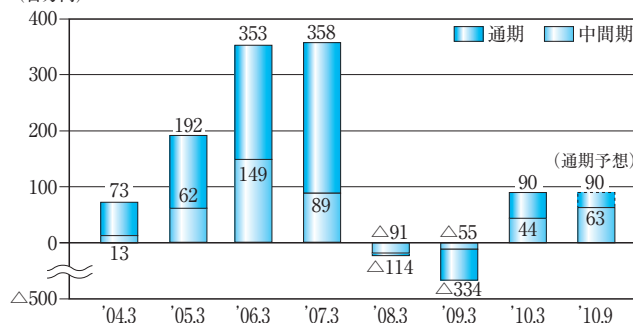
## ● 売上高

(百万円)



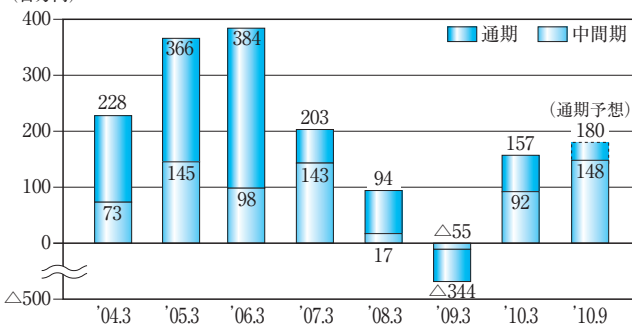
## ● 当期純損益

(百万円)



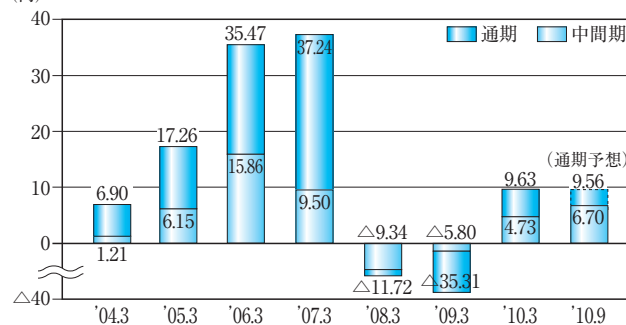
## ● 経常損益

(百万円)



## ● 1株当たり当期純損益

(円)



# 中間連結財務諸表

## ● 中間連結貸借対照表

平成22年9月30日現在

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	4,032,955	流動負債	3,326,999
現金及び預金	1,492,484	買掛金	266,740
受取手形及び売掛金	882,382	短期借入金	2,129,960
商品及び製品	987,869	1年内償還予定の社債	500,000
仕掛品	279,590	未払法人税等	50,038
原材料及び貯蔵品	259,472	その他	380,260
その他	133,337	固定負債	1,981,104
貸倒引当金	△ 2,180	長期借入金	1,506,034
固定資産	3,108,812	退職給付引当金	34,417
有形固定資産	2,746,631	役員退職慰労引当金	3,120
建物	1,073,851	その他	437,532
土地	741,388	負債合計	5,308,103
その他	931,391	(純資産の部)	
無形固定資産	66,883	株主資本	1,777,671
投資その他の資産	295,297	資本金	960,000
繰延資産	1,978	資本剰余金	491,045
資産合計	7,143,746	利益剰余金	474,893
		自己株式	△ 148,267
		評価・換算差額等	△ 8,690
		その他有価証券評価差額金	△ 8,690
		少数株主持分	66,661
		純資産合計	1,835,642
		負債純資産合計	7,143,746

(注) 記載金額は千円未満を切捨てて表示しています。

## ● 中間連結損益計算書

平成22年4月1日から  
平成22年9月30日まで

(単位：千円)

科 目	金 額	
売上高		2,607,140
売上原価		1,700,099
売上総利益		907,041
販売費及び一般管理費		703,697
営業利益		203,344
営業外収益		
受取利息	354	
受取配当金	914	
その他	10,158	11,427
営業外費用		
支払利息	40,989	
売上割引	19,350	
その他	5,750	66,089
経常利益		148,682
特別利益		
貸倒引当金戻入額	103	103
特別損失		
固定資産除却損	220	
子会社株式売却損	711	
その他	52	984
税金等調整前中間純利益		147,801
法人税等		75,366
少数株主損益調整前中間純利益		72,434
少数株主利益		9,338
中間純利益		63,096

(注) 記載金額は千円未満を切捨てて表示しています。

● 中間連結キャッシュ・フロー計算書 平成22年4月1日から  
平成22年9月30日まで

(単位：千円)

科 目	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	351,615
投資活動によるキャッシュ・フロー	5,027
財務活動によるキャッシュ・フロー	61,732
現金及び現金同等物の増加額	418,376
現金及び現金同等物の期首残高	1,074,107
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,492,484

(注) 記載金額は千円未満を切捨てて表示しています。

● 子会社

平成22年12月1日現在

会 社 名	株式会社ロプテックス ファスニングシステム	鳥取ロプスターツール 株式会社	株式会社ロプエース	株式会社ロプメディカル
設 立	昭和63年7月2日	平成2年12月6日	平成3年8月8日	平成20年6月4日
資 本 金	1,000万円	5,000万円	5,000万円	1,000万円
住 所	東京都中央区日本橋 堀留町1-5-11 堀留Dビル5階	鳥取県西伯郡大山町 高田1213番地1	大阪府八尾市上尾町 6丁目1番地	大阪府東大阪市四条町 12番8号
事 業 内 容	ファスニングツール 工業用ファスナー卸売業	金属製品製造業	ゴルフ練習場	医療機器の製造販売
代 表 者	代表取締役社長 川邊裕一	代表取締役社長 鈴木治	代表取締役社長 平田正紘	代表取締役社長 地引俊為

# 会社の概要

平成22年9月30日現在

設立 大正12年8月12日  
資本金 960,000,000円  
発行済株式総数 10,000,000株  
本店所在地 東大阪市四条町12番8号  
製造販売品目 作業工具  
ファスニングツール  
電設工具  
切削工具  
工業用ファスナー

## 事業所

本社／東大阪市四条町12番8号（〒579-8053）  
☎072-980-1110(代)

大阪営業所／東大阪市四条町12番8号（〒579-8053）  
☎072-980-1111(代)

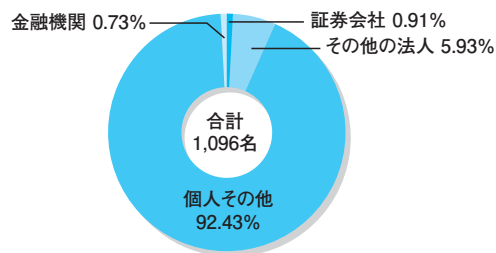
東京営業所／東京都板橋区高島平2丁目6番4号（〒175-0082）  
☎03-3550-3671(代)

名古屋営業所／名古屋市中区八竜町1丁目40番地（〒462-0805）  
☎052-915-0431(代)

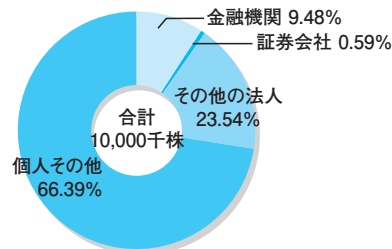
福岡営業所／福岡市博多区山王1丁目7番9号（〒812-0015）  
☎092-431-0395(代)

## 株式の状況

発行可能株式総数 45,000千株  
発行済株式総数 10,000千株  
株主総数 1,096名  
所有者別



## 所有数別



## 役員

取締役社長 (代表取締役)	地引俊為
専務取締役	行俊直彦
取締役	豊島尚規
取締役	田邊浩樹
取締役	山口正光
監査役(常勤)	林邦男
監査役	稲垣貞男
監査役	藤本昇

## 株 主 メ モ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月に開催いたします。
基準日	定時株主総会の議決権 3月31日
	期末配当 3月31日
	中間配当 9月30日
公告方法	※その他必要がある場合は、あらかじめ公告する一定の日 電子公告により行います。 <a href="http://www.lobtex.co.jp/lobtex/ir/">http://www.lobtex.co.jp/lobtex/ir/</a> ただし、電子公告によることができないやむを得ない 事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
上場証券取引所	大阪証券取引所
単元株式数	1,000株

当社の株主名簿管理人／特別口座の口座管理機関である株式会社だいこう証券ビジネスは、平成23年1月1日をもって、会社分割により三菱UFJ信託銀行株式会社へ証券代行業務を移管いたします。

つきましては、株式に関する各種お問合せ先等が以下のとおり変更となります。

平成22年12月30日まで

株主名簿管理人／特別口座の口座管理機関 株式会社だいこう証券ビジネス

【郵便物送付先／各種お問合せ先】

〒541-8583 大阪市中央区北浜二丁目4番6号

株式会社だいこう証券ビジネス 証券代行事務センター

●株式事務に関するご照会 電話 0120-255-100 (通話料無料)

●特別口座に関するご照会 電話 0120-351-465 (通話料無料)

[受付時間 9:00~17:00 (土、日、祝祭日を除く)]

平成23年1月4日以降

株主名簿管理人／特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

【郵便物送付先／各種お問合せ先】

〒541-8583 大阪市中央区北浜二丁目4番6号

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部

●各種事務に関するご照会 電話 0120-255-100 (通話料無料)

[受付時間 9:00~17:00 (土、日、祝祭日、年末年始を除く)]

